

きたもとで
みどりと暮らす

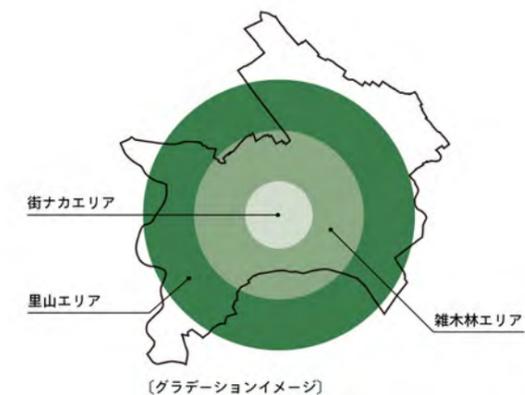
& green
[アンドグリーン]

北本市シティプロモーション





- 4 里山&green
[里山エリアの紹介]
- 6 talk&green PART 1～地産地消～
[新井農園×ココクベール]
- 8 雑木林&green
[雑木林エリアの紹介]
- 10 talk&green PART 2～居場所～
[NPO法人北本雑木林の会×どんぐりカフェ]
- 12 街ナカ&green
[街ナカエリアの紹介]
- 13 歩いてめぐる街ナカのお店
- 14 talk&green PART 3～小商い～
[クッキークル×KenichiKondo]
- 16 暮らし&green
[北本市シティプロモーションの紹介]
- 18 北本の旬に出会う
- 19 遊ぶ・食べる&green
[観光情報の紹介]
- 20 暮らしの情報紹介



&green

[アンドグリーン]

JR湘南新宿ラインで新宿から50分、埼玉県の中央部に北本市はあります。

都心にほど近い立地ですが、市内には驚くほど多くの自然が残っており、雄大な荒川の流れからまちの中心部に向かって、多様な生き物が暮らす里山エリア、人と緑が混じり合う雑木林エリア、人の営みの中に緑が残る街ナカエリアへと、緩やかな緑のグラデーションを描いています。

一年を通して、自然散策やキャンプ、農業体験など、気軽に自然と触れあえる環境が整っており、季節ごとに市内で収穫された新鮮な野菜は、直売所や飲食店などでいつでも味わうことができます。まちのあちこちに点在する雑木林は、子供が集う遊び場になったり、マーケットの会場になることも。

暮らしの隣にある様々な“みどり”を通して自然に人が繋がる、それが北本暮らしの豊かさです。“みどり”と共にあるこの北本を、あなたはどんな風を楽しみますか。





里山 & green

北本の荒川沿いには未だ多くの自然が残っています。人の営みと共存して残ってきた里山の風景は、訪れる人を懐かしい気持ちにさせてくれます。北本自然観察公園・埼玉県自然学習センターは埼玉有数の野生動植物の住処となっており、その広大な敷地の中を散策すると季節ごとに異なる自然の表情を満喫することができます。サンアメニティ北本キャンプフィールドは、都心から一時間で遊びに来られるキャンプ場として人気を博しています。2019年に「森林セラピー基地」としても認定された豊かな環境は、訪れる人を心身ともにリフレッシュさせてくれる北本の宝物です。



埼玉県初!森林セラピー基地に認定

北本市の緑豊かな里山や雑木林が持つ癒し効果が科学的に認められ、埼玉県初の「森林セラピー基地」に認定されました。野生の生きものがすみやすいように自然の姿を昔のまま残した北本自然観察公園には、おすすめ散策コースがあり、さらに基地認定に伴いセラピーロードが設定され、北本市の豊かな環境をより身

近に感じられるようになりました。北本市での暮らしには、すぐそばに癒しや潤いを楽しめる環境があります。緑の中で深呼吸して五感を働かせたら、ここから心がほっとする。生活の中にひと呼吸おいたひとときを味わってみませんか。



サンアメニティ 北本キャンプフィールド

15区画のテントサイトや冷暖房が完備された4棟のバンガローが手頃な価格で利用でき、キャンプやバーベキューが楽しめる施設です。また、キャンプ用具の貸し出しや食材の注文もお受けしています。荒川に近い日当たりのよい場所に整備された芝生広場や親水池もあり、キャンプをしない方でも日向ぼっこをしたり散歩をしたり、季節の移り変わりを感じながらゆっくりと過ごすことができます。夜間もスタッフが常駐しているので、アウトドア初心者やファミリーにも安心して利用いただけます。管理棟内には売店の他、100人まで収容できる多目的ホールなど貸室もあります。

[北本市高尾9-143 電話:048-593-0008]

北本自然観察公園 / 埼玉県自然学習センター

北本自然観察公園は、昔ながらの「里山」の自然を残した公園です。約33ヘクタール(東京ドーム7個分)の広さに、雑木林・草はら・水辺などがあり、市の昆虫である夏のヘイケボタルを始めとした多くの野生の生きものがくらしています。整備された園路の一部は、森林セラピーロードとしても登録。園内には無料施設「埼玉県自然学習センター」があり、季節ごとに様々な展示やイベン

トを楽しめます。施設には専門知識を持った自然学習指導員が常駐していて、散策中に会った生きものについて、気軽に質問をすることが可能です。毎週土・日・祝日の14時から、1時間のガイドツアー「定例自然かんさつ会」を開催。当日申込でどなたでも参加できる手軽さから、年間約2000人が参加しています。

[北本市荒井5-200 電話:048-593-2891]

[これまでに公園内で見つかった生きものの数] 昆虫 2000種以上、植物 800種以上、野鳥 約170種

新井農園

新井農園 北本で古くから農業を営む新井農園の24代目。きゅうりを中心に、トマト、とうもろこし、じゃがいも、ブロッコリー、ロマネスコなど多様な野菜を生産している。近年は北本市農業青年会議所、北本イケメン野菜の生産者として市内店舗とのコラボレーションも行っている。詳しくは「北本イケメン野菜」で検索を！

ココフク
ベーグル

ココフクベーグル 2018年9月に北本市にオープン。国産小麦と天然酵母を使ったふっくらモチモチのベーグル。食べてほっこり幸せを感じてもらいたいとの思いから「ココフクキタル」ココフクと名付けられた。小さな幸せをココフクで。
https://www.instagram.com/cocofukubagel/
北本市中央1-8-1 電話：048-514-7451

2018年9月にオープンした「ココフクベーグル」は地産地消にこだわり、地元「新井農園」の野菜を使った美味しいベーグルで北本の新たな人気店となっています。サンドイッチの具材に使われるかぶざくら^{※1}を始め、軒先では新井農園さんの野菜も直売。お客さんにも好評です。二人の信頼関係から生まれる、小さな、でも確実な地産地消の関係についてお聞きしました。

— お店をやろうと思ったきっかけについて教えてください。

ココフクベーグル(以下 ココフク) 元々はカフェで働いていて、いつか独立したいと考えていました。やるなら自分の好きなことだけでなく、地産地消で地域や生産者さんと一緒に良い関係をつくれる仕事が良いなって。ごはんを出す感じでやろうと考えていました。

— ベーグル屋さんにしたのは何故ですか？

ココフク ベーグル、元々は嫌いだったんです。美味しくないので何かお洒落な感じで、人気があるのが不思議でした。ある日、図書館でたまたまベーグルの本が目に入って「あ、あのまずい奴だ」って気になって(笑) どうやって作られてるのかなって見たら、卵とかバターとか使わないし、原材料がすごくシンプルで。え、茹でるの?とか、気になっちゃって。

— 意外ですね、嫌いから始まったんですか？

ココフク そのまま本を借りてスーパーで材料買って、すぐに家で作って見たんです。そしたら私が思っていたベーグルと全然違って。美味しい!しかも原材料が少ない分、食べられる人の範囲が広がる食べ物なんだなって。それからは試行錯誤、休みの日はもうベーグルばかり作っていました。

— 新井農園さんとは、どうやって知り合ったんですか？

ココフク 市役所からの紹介です。お店を始める前から地産地消でやりたいと相談して。聞いてみたら作られている野菜の種類も多いし、北本すごいって。いくつか紹介してもらった中に新井農園があって連絡しました。

新井農園(以下 新井) オープンぎりぎりに連絡がきたよね。

ココフク 二日前でしたね。(笑) サンドイッチに使えるような野菜探しているんですけど、ありますか?って、会いに行って。まず「若い!!」と思いました。話がすぐ伝わるし、感覚も近い。サンドイッチの具材ってレタスとかイメージすると思うんですけど、9月って北本では葉野菜が少ないんですよね。そこでちょっと変わった野菜も見せてもらって。

新井 ちょうど紫のじゃがいもをその年から作っている。こういうのもあるよって見せたんです。うちも作ったけど、どうやって捌こうかって悩んで。

ココフク なんだこの紫のじゃがいもは! サンドイッチに使えるじゃん!って。最初から話しやすく相談しやすかったですね。仲良くなってからはルッコラとか、あまり出回らなくて日持ちのしない葉物の野菜をお願いして作ってもらったり、とてもありがたいです。

— 新井家は長く農家が続いているとお聞きしました。新井さんは何歳の時に就農したんですか？

新井 うちの室町時代ぐらいから続いていて、僕で24代目なんです。親にやられて言われたことはないけど姿をみていて。高校までは普通科だったけど農業の短大に行き、卒業した20歳の時から始めたので、今年で19年目です。

— 24代!?そんなに続いているんですか! す、すごい...!! 北本の農家さんは若い人が多い印象があります。

新井 北本は本当に若い後継者が多いですね。年の近い先輩達も多いし、よく面倒も見てくれて引っ張ってってくれるんです。その影響が最近では新規就農者も増えてきていますよ。年齢が近い農家がいることで新規の人も入りやすくなっているんだと思いますね。

— ココフクさんのように地元野菜を使いたいと相談に来る人は

いるんですか？

新井 もともと福寿司^{※2}さんとは10年くらい前からやっているんです。それとBISTY^{※3}さんも2019年の11月くらいから使ってもらっています。飛び込みで話に来たのは初めてかなあ。

ココフク たまたま新井さんが話しやすかったからできたけど、敷居が高くなっちゃったら出来なかったかも。

新井 うちとしては自分で売り込みにいくわけじゃなくて使いたいって来てくれるなら、あるものはどんどん使ってもらいたいんですからね。

— 地産地消についてはどうでしょう？

新井 今、市内には農産物直売所やスーパーの地場野菜コーナーとかがあるので、北本野菜を地産地消で売るといったことはみんな結構出来てるんですけど、自分の野菜をお店でメニューに使ってくれているのは、まだまだ少なく。やっぱり増えてくると嬉しいですね。

ココフク うちでも野菜の直売をしています。珍しい野菜って食べ方を知らない、なかなか買づらいですよね。でもその野菜を使ったサンドイッチを食べて、美味しかったから買ってくれたり、こうやって使えますよって伝えると買ってくれたり。食べ方を学ぶではないですけど、知ってもらえる場にもなってるのかな。

— 作ってる人の顔が見えたり、その土地で採れたものを、その土地で食べられるって良いですよね。



ココフク 野菜とベーグルを両方買ってくれる人は多いです。子供が野菜嫌いだったんだけどかぶざくらは食べられた、農家さんにお礼を言っておいて頼まれたりとか。お客さんに野菜の食べ方を説明したら、後ろに並んでいた人も聞いていて、続けてみんなが買ってくれることもあります。それで野菜が無くなっちゃったら、近所のスーパーにも置いてますよって案内しています。

新井 野菜を作っている自分以上にお客さんに説明して売ってくれるんで助かってます。配達も毎日していますね。

— 有人直売所というかココフクさんが野菜の営業マンもしている。すごく良い信頼関係ですね。

ココフク 新井農園さんがすごくちゃんとしているんです。野菜も全てにおいて良い状態で持ってきてくれるから。やっぱりその信頼関係が一番大きいんですよね。



新井 個人対個人じゃないと責任もってやれない部分があると思うんです。何人かでやっていると周りに頼ってしまうけど、一対一だときちっとやれますよね。営業マンが常にいてくれる状態なので、かぶざくらとか紫のジャガイモとか珍しい野菜の生産にも取り組みやすくなっています。

ココフク 最初は、私の中での地産地消のイメージって、スーパーに出せない野菜がいっぱいあって、出せないものをどうしようって、農家さんがもっと困っていると思ってたんです。でも実際は、そういう野菜って少ないんですよね。ちゃんと売れるように作ってくれていて。

新井 誰かにそれでいいと言われても、責任感というか。俺が変なもの出せばお店にも迷惑かけるから。野菜をきちんと商品化するというのは、ずっとこだわってやっていますね。

— これからやってみたい事とかってありますか？

ココフク 前に新井さんのハウスの一角でやらせてもらった畑を拡大したいです(笑) ルッコラを植えてくれていて、私は管理も収穫もしないけど「ココフクファーム」って名付けていました。あとはトマトの美味しい時期にその場で収穫して切って挟んで食べるってツアーみたいなのが、やってみたいですね。私はプレーンベーグル用意して、味噌マヨネーズのドレッシングとか用意しておいて、あとはみんなに取ってきてもらって。

— 収穫体験で採った野菜をその場でベーグルに挟んで食べる。最高ですね。この畑もすごく気持ちのいい場所だし、遊びに来るとすごく愛着が湧く気がします。

新井 うちの畑は仕事場としての環境は最高ですよ、気持ちいい。気軽に遊びに来て欲しいですね。あとは、やっぱり自分の野菜を使ってもらってお店のメニューに載るっていうのが嬉しいので、もう少し広げたいですね。

— 北本野菜の地産地消はもっと広がると良いですよね。ほかの農家さんでもお店と繋がりがあいる人はいると思いますが、どんなことが大事だと思いますか？

新井 北本市内ではいろいろな種類の野菜・果物が作られているので、もっと色んなお店で使ってもらって知ってもらえたら良いですね。北本市の若手農家の集まりの農業青年会議所では生産している野菜を「北本イケメン野菜」としてブランド化しています。最近、商標登録も取り、盛り上がっているんです。あとは、それぞれの考え方や相性もありますし、個人個人が責任持ってお店と付き合っていくのが一番良いですね。一緒に考えてやっていける信頼関係を築くことが、永く続けていくためには大切な事だと思います。

^{※1} かぶざくら カブのものすけのことで新井農園で作られる新規北本ブランド認定品。普通のカブより皮が柔らかく、手でつるっと簡単に剥くことができる。果肉は薄いピンク色、フルーツのような甘み特徴。生食でサラダに使ったり、甘みが増えて柔らかくなるので加熱調理もおすすめ。

^{※2} 福寿司 長年地元で愛されるアットホームな雰囲気のお店。野菜は北本産にこだわり、旬の野菜で楽しめる「北本イケメン野菜寿司」などを提供している。

^{※3} BISTY 北本の人気イタリアンレストラン。「北本イケメン野菜を使った大盛りサラダ」などを提供している。



雑木林 & green

北本には住宅地の近くにも多くの緑が残っています。中央緑地を始め公園のように気軽に遊びにいける雑木林が市内に点在し、市民の憩いの場や散歩コースになっているほか、住宅街に隣合う畑には一年を通して採れたての野菜を気軽に味わうことができる無人直売所が数多く設置されています。そんな暮らしに近い緑の環境を活かし、5月の新緑の時期には「森めぐり」10月の野菜の美味しい時期には「秋の収穫祭」という、収穫体験や音楽祭、マーケットにワークショップなどの様々な催しが開かれ、多くの人で賑わいます。暮らしの近くの自然と、子供から大人まで世代を超えた人の活動が混じり合う、北本ならではの緑の楽しみ方です。



緑の近くで暮らし続けていく

新緑の五月、北本市内に残るいくつかの雑木林を会場に開催される「森めぐり」では、音楽フェス、レストラン、子どもの遊び場、自然散策など、林ごとに様々な催しが行われ、大人も子供も思い思いに楽しめます。気持ちのいい緑の中、気に入った場所を探し、好きなことをして遊ぶ。大人にも子供にも必要な大切な時間です。NPO法人北本雑木林の会が30年にわたって守り続け

てきた北本の雑木林は、そんな大切な時間を私たちに与えてくれます。新緑の中に立つ子供たちがいつか大人になっても雑木林に戻ってこられるように。緑の近くで暮らす豊かさを未来に繋いでいく、新しいサイクルの一つがこの「森めぐり」です。北本では雑木林の緑が世代を繋ぐ場所にもなっているのです。



暮らしと場の習慣を観光に

「昔はみんな自分ちの生垣の茶の木からお茶を作っていたんだよ」農家のおかあさんが教えてくれました。北本市観光協会では、そんな暮らしの中にある習慣を観光化する取り組みを行なっています。茶の木から新芽を摘んで作る出来立てのお茶の繊細な香り。採れたてのよもぎで作る青々とした草餅。自分で育てた大豆から仕込んだ味噌の食べ比べなど、暮らしの近くに緑が残っているからこそ楽しめる様々な自然の恵みを体験ツアーにしています。

今も日常の中にひっそりと佇む、昔ながらの習慣や暮らしの知恵は若い世代や子供達にとって新しい発見でもあるのです。あなたもそんな懐かしくて新しい北本の楽しみ方を探してみませんか。

《北本市観光協会》
住所：北本市西高尾1-249
開館時間：平日9時～17時（日曜16時）
土曜日休館
電話：048-591-1473
WEB：<http://www.machikan.com/>



どんぐりカフェ

NPO法人
北本雑木林の会

北本の市街地には今でも多くの雑木林が残っています。NPO法人雑木林の会が30年に渡って維持管理活動を行い残してきた雑木林ですが、2020年に新しい活動拠点どんぐりハウスが出来て以降は、地域の人が集う憩いの場として、より開かれた場になっています。地域の緑を守りつなぐを生み出す「雑木林の会」と人が集まる「どんぐりカフェ」の活動について、会長の白川さんと、どんぐりカフェスタッフさんにお話を伺いました。

— 雑木林の会は1993年から活動されていると伺いました。会としては主にどんな活動をされているのでしょうか？

白川 市街地に残る4ヶ所の市民緑地をはじめとした雑木林の保全・管理が中心です。近年は北本中央緑地という高崎線の線路沿いの雑木林の管理を北本市から委託されています。具体的には伐採・植樹・希少植物の保護など、多岐にわたります。市と相談しながら計画を立てて進めています。他にも、年4回の中学生ボランティア教室を開いて、森林保全活動の体験してもらっています。

— とても忙しいようですが、その活動があってこそ雑木林が守られているんですね。ありがたいです。会員さんの人数はどれくらいなんですか？

白川 正会員は40人くらい、活動にいつも参加するのは20人くらいかな。40代から70代まで幅広く参加しています。毎週土曜日の午前中を中心に活動しています。

昨年からは会長を引き継ぎましたが、今まで良かった点は引き継いで、より活発な保全活動をしていきたいと考えています。

— 2020年に新しい活動拠点どんぐりハウスが出来ました。こちらはどんな場所なんですか？

白川 会の活動が始まった時から、市内の色々な雑木林で活動してきました。地主さんも一緒になって落ち葉かきの作業を手伝ったり楽しみながら活動してきたので、みんなで集える場所を作りたいという構想はずっとあったんです。会員だけでなく地域の人や誰もが気軽に集える場所。それがやっと形になりました。建物もみんなでワイワイ苦労して作ったので、愛着が湧きますよね。

— 集える場所、いいですね。今日も人が集まっています。どんぐりハウスが出来て以降、若い人が増えたように感じます。やはり一つのきっかけになったのでしょうか？

スタッフ はい、私もどんぐりハウスを作っていた頃に友人の紹介で会の活動に参加するようになりました。やっぱりこの雑木林の環境が素晴らしいかつ、子供を連れてきたらすごく楽しそうにしていたので。私も親や先生とは違う近所の人たちと関わる楽しさを感じました。

— 今日の集まり「どんぐりカフェ」も若手の会員さんたちが企画されていると聞きました。

スタッフ 同じように雑木林の会で活動している同年代のお母さんたち3人で、月曜と木曜の10-12時で週2回「どんぐりカフェ」という活動をしています。お店ではないんですけど、近所の人が集まれる休憩所のようなイメージです。雑木林の良さを伝えたくて。誰でも入れるよ、気軽に遊べるよというのをもっとお知らせしたいんです。

— みんな楽しそうすごくいい雰囲気ですね。幅広い年代の方が集まっていますが遊びに来る方はどんな人が多いですか？

スタッフ 最初は通りすがりの人が多かったですね。月・木開いてるのが分かって毎回通ってくれて、そこで集まった人同士が仲良くなったりしています。インスタグラムを観て、お子さんを連れて若い



お母さんが来ることもありますね。トイレも手洗いもあるし、ちょっと遊びに行くのに丁度いいんだと思います。

— どんぐりハウスを軸にして、雑木林で人の繋がりが生まれているんですね。

スタッフ 最近ではどんぐりハウスをレンタルスペースとしてヨガやフラダンスが行われたり、フリースクールの受け入れなど様々な活動が生まれています。今後は劇団を呼んでの上演会なんかも計画中です。雑木林の会のイベント部門じゃないですけど、雑木林を知ってもらい、活用してもらいきっかけになればと思って色々やっているんです。

白川 やっぱりどんぐりハウスが出来て色々な活動がしやすくなったんですね。北本中央緑地の管理を引き受けてから忙しくなっちゃって出来ないことも多かったんで、若手会員がこうやって活動してくれるとすごく嬉しいです。

— 新しい試みが次々に生まれていて素晴らしいですね。やっぱり林の保全・管理の作業は大変なんでしょうか？

スタッフ 大変だけど、除草作業もとても楽しいですよ。自然の中で一つのことに集中して無心で作業するので、やった後のスッキリ感があるんです。炊き出しのご飯も美味しく楽しいんですけど、作業も楽しい。どちらも楽しみながらやりたいですね。

白川 林の中を歩いてみるとリフレッシュできると思います。それで月に1回くらい、活動に参加してもらえると嬉しいです。仕事と家の往復だけじゃない、自分の時間を味わえるのでおすすめしたいです。

— 作業も楽しいってすごく良いですね。自分たちで楽しみながら雑木林を整備して、居心地の良い場所を作っていくというのはとても豊かさを感じます。

白川 雑木林って、二次林とか人の手入れによって造られてきた自然ではあるんですけど、生き物もたくさんいるんですね。北本市からも生態系重視の保全をしていきたいと話があったので、林によってメリハリをつけてやっていきたいです。

— 色々な雑木林があることで、人間だけでなく動物や生き物にとっても豊かな空間になりますね。林を巡って散歩するのも楽しそうです。今後の展望など教えてください。

白川 北本市で力を入れている森林セラピーの活動は、うちの会員さんでも参加している人がいるのでうまく連携していきたいですね。雑木林にはたくさんの可能性があるんで、子供だけでなく大人も活用してほしいです。この雑木林は本当に宝物だと思う。これからも北本の雑木林を守っていくために、ぜひ参加してください。一緒に楽しみましょう。

スタッフ 私は北本に移住してきたんですけど、最初は雑木林に入っているのかも分からなかったんです。たまたま友人から紹介してもらって参加出来ましたけど、NPOのような市民活動に入るのもちょっと敷居が高いと感じてました。だから、気になってはいるけどきっかけがない隠れ雑木林ファンを発掘して仲間を増やしたいです。「どんぐりカフェ」の時でも、通りすがりだけでもいいので、ぜひ一度遊びに来てみてください。

雑木林の会の詳しい活動内容はこちらのホームページからご覧いただけます。

《NPO法人 北本雑木林の会》

WEB:<http://zoukibayashi.main.jp/>



《どんぐりカフェ》
住所:北本市緑3-390
(どんぐりハウス)
開催時間:
月曜・木曜10時~12時





街ナカ &green

北本では街ナカでも緑の恵みに触れることができます。市内に約80か所ある農作物直売所では、地元農家さんの採れたて北本野菜を毎日買うことができますし、石戸トマトの歴史から生まれ全国ご当地カレーグランプリ2019でも優勝を果たした名物・北本トマトカレーは市内の様々な店舗で食べられます。北本市役所の芝生広場を会場に行われたマーケット「みどりといち」は大きな賑わいを見せ、運営を行った地元若者のチーム「暮らしの編集室」は、みどりからまちを考える新しい視点でまちを盛り上げる活動を行っています。



2019年に行われた「みどりといち」以降、北本市役所では芝生広場を活用して緑とつながる新たな活動が生まれています。まちに関わりたいと思う様々な人が集まり話し合うワークショップ「マーケットの学校」をきっかけに「&green market」という定期開催のマーケットも始まりました。

市内農家さんの採れたて野菜販売や、キッチンカーの出店、手作り雑貨の販売が行われる一方、音楽ライブやキッズヨガ、焚き火エリアなど、売り買いだけでなく様々な人が集い交流することを大切に、誰もがチャレンジしやすい開かれた場所を目指しています。

「マーケットの学校」と「&green market」を通して、地域に新たな楽しみを作り、豊かな時間を共に過ごして愛着を生み育てていく活動は、2022年度の全国広報コンクールでも大きく評価され、最高賞である内閣総理大臣賞を受賞しました。地域住民やワークショップ参加者、ボランティアなど多くの人が協働することで、今までになかった北本の新たな楽しみが生まれ、街ナカエリアを盛り上げています。

きたもとで考えるマーケットの学校

<https://andgreen-kitamoto.com/project/market-school/>



歩いてめぐる街ナカのお店



gallery&cafe yaichi

国内有名作家の器やクラフト作品がそろうギャラリー & カフェ。多くの作品が並ぶギャラリーを目掛けて、県外からも多くのファンが足繁く通います。併設のカフェでは、作家の器で頂くこだわりのドリンクやランチ、見た目も美しい自家製スイーツをぜひ。

営業時間など：11:00 - 19:00 定休日：月曜、第1火曜

北本市中央2-64 電話番号：048-593-8188

<http://yabedesign.com/yaichi/>



コーヒーとタイヤキのカラク



注文を受けてから1匹ずつ焼く天然物の1丁タイヤキは、つぶあんと自家製カスタードクリーム等の5種類。カフェラテなどのドリンクも充実しており、こだわりの豆から挽いたコーヒーとタイヤキは相性バツグン。

営業時間など：9:30 - 17:00 定休日：火曜

北本市中央1-8-1

<https://coffee-taiyaki-karaku.business.site/>



月詠珈琲



北本駅西口から徒歩1分。ゆったりと落ち着いた雰囲気の内では、国際的な珈琲豆品評会で高評価の豆だけを使用した、こだわりの一杯が味わえます。珈琲と一緒にトロふわなオムライスもおすすめ。

営業時間など：10:00 - 21:00 定休日：水曜

北本市中央3-62 電話番号：090-6004-0197

https://www.instagram.com/kitamoto_coffee_tukuyomi/



おかし屋 Mogu



毎日でも食べたいくなる、プリンのお店。プリンは、カラメルたっぷり、カラメルなしのMoguMoguプリンがあり、優しい味わいを求め、多くの常連客が訪れます。贈り物やご家庭でも、癒しの幸せプリンをお召し上がりください。

営業時間など：10:30 - 19:00 (木曜14:00から) 定休日：月曜

北本市中央2-92-4 内田第二ビル 101

電話番号：048-593-5610

小声書房



2022年4月オープン。文芸書から絵本・リトルプレスまで、店主の選書が光るこだわりの書店です。読書会や詩の教室など、定期的にイベントも開催しています。店内には、借主が自分の好きな本を販売できる棚貸コーナーもあり、個性的な本たちが所狭しと並んでいます。

営業時間など：11:00 - (曜日により変動有、WEBにて要確認)

定休日：火曜、水曜 北本市中央1-109-B-103

電話番号：080-7257-6453 <https://kogoeshobo.theshop.jp/>



クッキークル

Kenichikondo

尾上由子(なお) 1981年北本生まれ。独学で焼き菓子を作り続け、2010年にクッキー屋「クル」をオープン。レシビ本「さくほろっしゅわな ゆかいなおやつ」(新星出版社)発売中。夫と5歳になる娘と3人暮らし。http://cle-cookie.com 北本市中央3-84 電話: 048-593-5324

近藤健一 1981年名古屋生まれ。小学生の時にさいたま市(旧浦和)に引越す。武蔵野美術大学金工卒業。卒業後七宝に(正式に)出合い、のめりこむ。2010年より北本市のアトリエ兼住居にて制作を行う。http://www.kenichikondo.com

北本市外からも多くのお客さんが訪れるクッキーのお店「クル」の店主なおさん。荒川沿いの豊かな自然環境の中に自宅兼アトリエを構え作品制作をしながら暮らす七宝作家の近藤さん。北本出身のなおさんと市外から移住してきた近藤さんは、同じ年かつ同じ「焼き」仲間。美味しいお菓子里に素敵な七宝作品、北本の新しい魅力を作り出すお二人に、北本暮らしのリアルを聞いてみました。

— 2人はもともと知り合いだったんですか?

近藤 いや、北本に引っ越してきてからですね。

なお「森のレストラン」^{※1}という北本市内のイベントに出店したときにお客さんとして来てくれたのが初めてで、それから。普段も近藤君がお店に来てくれて話すくらいだけど、不思議と居心地よく色々話せる関係なんですね。

近藤 弱みも含めて話せる人って多くないから、伝わり方が伝わるまいが、弱音を吐いて、言いたいことを言うだけでもありがたくて。

なお それは違う!とかの否定もせず、ただお互いがそうであるというだけ。いい距離感ですね。

— 気のおけない友達って感じなんですか。北本で仕事を始めるときは、どういう気持ちでしたか?

なお 私は「クル」を始める時はネットショップを中心に考えていて北本の人々がメインターゲットではなく、「地元でやろう!」も「北本は嫌だな」も特になかったんです。ただ、それまでの私の北本のイメージって、周りから「なににもない」って言われていて「つまらない町」でした。やっぱりそれがずっと悔しくて。北本でちょっと変わったことをやる人が1人ぐらいいても良いんじゃないかって始めた部分もあります。クッキー専門店だしネットショップだし最初は全然理解されなかったんです



けど。なんとかもうすぐ10年ですね。

— 近藤さんはどうですか?

近藤 住む場所を探していて、妻が物件紹介のツアー^{※2}に参加したのがきっかけです。内見した建物の雰囲気と環境が気に入って、改装して家と工房にして移住してきました。その後、訳あってその物件を出ることになったんだけど、歩いて引っ越しできる距離に今の物件がタイミングよく見つ

かって、また改装して住宅兼アトリエにして暮らしています。だから北本に来たのは結構偶然かな。今は居心地もいいし気に入ってます。

— 移住先を探している人から見ると、空いている物件のマッチングが重要なんですね。きっかけ次第というか。

近藤 そうだと思うよ。探してる条件の物件に会えるかどうかは大きいと思う。なんだかんだもう10年近く北本にいるもんね。

— 実際に北本で作品を制作しながら暮らしていて、どうですか?

近藤 環境はいいですね、静かだし、緑は多いし。でも、ちょっとのんびりすぎて東京と自分の感覚がずれてきている気はするかな。展示とかで自分としては満足いく出し方をしているんだけど、ちょっと弱かったりとか。

なお それはお菓子でも感じるよ。お客さんの反応も変わってきてるよね。自分のやりたいことが東京に「ハマらない。」

近藤 それ!「ハマらない」全然ハマらない!(笑)でも、売るために合わせすぎるのも癪だから、いろいろ考えますね、バランスだと思うけど。

— 東京は特にマーケティングありきの動きというか、消費のための消費という感じなんですかね。生活よりも。



なお そうなのかもね。それはそれで良いんだろうけど、ドキドキワクワクすることは個人的に減ってきている気もする。大事にしたいことも少し違うのかもなあ。

近藤 最先端っぽいものに合わせるのも合わせないのも、何となくどっちにもなりきれないんだよね。まあ今年で10年だし、どうしてこうかなって、楽しみでもあります。

— 東京に比べると北本は良くも悪くも色々なものが混ざっている感じがありますよね。生活と地続きというか。ある意味、許容されるモノコトの幅が広い、自由な場所なのかな。

近藤 今週は大阪から指輪を受け取りに来てくれる人がいるんだけど、来る側からすると東京から離れすぎでないのも良いのかもね。東京でも遊んでそのまま1時間くらい足を伸ばせば来られる距離で。

— 近藤さんはプライダルリングもやってるんですね。北本の人からの注文もありますか?

近藤 そうですね。プライダルだけでなく、一年おきに家族全員分頼んでくれた人もいました。北本のイベントで初めて買ってから、益子陶器市に何度も来てくれる人もいたりして、ホントに嬉しいです。

— そういう関係、良いですね。売る側と買う側なんだけど、消費を超えて関係性が生まれるような。なおさんは北本市内で店舗を移転しましたよね、北本を出る選択はありませんでしたか?

なお いずれ東京にっていうのは、お店を始めた時はどこかにあったかな。でも、今のつながりを大事にしたいから、北本のお客さんが買いやすいところに居たいなって。北本を拠点にしながら、東京とかほかの地域とのつながりも持っているっていうバランスが私はちょうど良いんだなって思う。自分のペースで考えられるのも。

近藤 距離感はあるよね。仕事のやり方と性格、生活、家族とか考えると俺にはぴったりだったかも。

なお 首都圏から電車ですら1時間の距離じゃなかったら、もっと東京に対するあこがれの気持ちとか強かったかもしれない。でも行こうと思えばフラッと行ける距離で、のんびりしたところもあって、ちょっと出遅れる感も最高ですね。愛すべきところだなって。

— それこそもうちょっと遠くなると、消費もその地域で自立しますよね。熊谷とか高崎とか地方都市みたいな中心ができる。

なお そうそう、例えば熊谷なら、ここでやっていくって気持ちは強くなるかもしれないけど、良くも悪くも北本はそこまで強くない気がしてる。強くないというか、誤解を恐れずに言えば無関心って感じなのかな。だから私はやれているって思うときもある。

近藤 まちで頑張っていることに関して自分がどこまで



北本のことを考えているかっていうと別に考えていないもんね。でも、わりと満足しながら日々を送っている。

なお その無関心な感じが良い意味で、いろんな個人店があるのを許してくれてるんじゃないかな。合わなければ来ないし、合えば来てくれるっていう感じがすごく楽。

近藤 そう、だから頼ってほしいと思う。居心地もいいし。

不思議だけど、オレもそれで10年やってきたから。強くないのが良いのかな。

— 強くなくても良い、っていうのが居心地の良さなんですかね。分かる気がします。今後、北本にこんなお店が欲しいとかありますか?

近藤 打ち合わせ終わりに紹介できるお店がもう少しあったらいいなあ。荒川サイクリングロードのところはすごく可能性があると思う。カレー、タイ・メキシコ料理、パン、定食、食べ物屋ほしいよね。

なお お客さんを見て、子供連れが楽しめるまちっていいなって思う。やっぱり子育てに行き詰っている人たちは結構いるから。行政が運営する無料の場所について「させてもらう」も良いんだけど、もう一歩進んで「お金を払って自分の意思で関わっていく」からこそ生まれるつながりもあると思う。「このお店が好き、この感じが好き」って、好きでつながるって強いと思うので。

— 例えば「子供と一緒に居られるカフェ」があると、その場所が無くなって欲しくないからみんな来るとか、普通にカフェに行くのとは違う、少し深い共感がありますよね。「焼き」仲間だけでなく、北本にものをつくる仲間ももっといてほしいですか?

近藤 うーん、今もお店の人とかとの絡みはあんまりないよね。

なお いたらいたで楽しそうだけどね。北本は「ものづくりの里にしていこう!」みたいなわずらわしさがなくて、すごく居心地が良い。

近藤 あそこに挨拶しておけ!みたいな(笑)それが少ないのはいいね、自分のペースでやるのって思った以上に大事というか、気を遣ったりで知らぬ間にダメージ受けたりするから。

なお でも、私、店を始めてもうすぐ10年なんだけど、当時の私みたいに一世代下の人たちがお店を始めてくれたら楽しいかも。上手くいかないことも多いけど、やっぱり楽しいし、まちが面白くなるのは嬉しいかなあ。いっぱい失敗してきているし、そういう人たちには「ダメならやめてもいいんだよ」もセットで、何か伝えたいかな。

近藤 好きなことを形にするのは良いよね、大変なことも多いけど楽しいよ。好きだったらやめようがないから。作家志望の人とかお店をやりたい人には、作り手やフリーランスの人がいる安心感と、あと、わずらわしさはないよって伝えたいかな。居心地が良くて、意外といいまちだからね、北本。



※1 森のレストラン 2011年に柳瀬学園自然教育園を会場に行われたマーケットイベント。

※2 おもしろ不動産 2010年に北本で行われた「おもしろ不動産」のツアー。

暮らし&green

北本市では「マーケットの学校」を始めとして、暮らしの中に楽しみを生み出す様々な市民協働プロジェクトを行ってきました。本市の市制施行50周年を機に開催した「みどりとまつり」は、市民ボランティアチーム「ひこばえ隊」と一緒に考え実現させたお祭りです。その他、地元農家さんの畑で収穫体験と美味しいお昼ご飯をいただく「暮らしの学校」、市民ライター講座「まちびらき」も開催し、地域に関わるきっかけとなっています。北本市が運営するwebサイト「&green」では、市内特産品紹介や&greenな暮らしを営む人々のインタビューなど地域の面白い情報を発信しています。



みどりとまつり

市制施行50周年を機に開催した「みどりとまつり」は、素敵な出店者が集まるマーケットと地元ならではの音楽ライブを中心に、トークイベントやツアー、収穫体験など北本暮らしの楽しさを体験できる様々な企画で盛り上がりました。事前準備からボランティアチーム「ひこばえ隊」参加メンバーを募り、会場装飾ワークショップや会場周辺のまち歩きを通して北本の魅力を探るなど、イベ

ント当日だけでなく日常的な活動を通して“みんなで作る”新しいお祭りです。社会福祉協議会とも連携し、手話や車椅子のワークショップを開催するなど、なるべく多くの人が無理なく楽しめる環境をみんなで考え作っていくことを大切にしました。

<https://www.instagram.com/andgreenfes/>

暮らしの学校

北本の土地では遥か昔から現在に至るまで、多くの農産物が作られ続けています。そんな豊かな土地の魅力に触れて楽しむ企画が「暮らしの学校」です。市内農家さんの畑などにお邪魔して、みんなで収穫体験をして、そのままその場所で素材を生かしたお昼ご飯をいただきました。旬の野菜の美味しさや土の匂いに気軽に触れられる機会があるのも、みどりと暮らす北本の大きな楽しみです。



市民ライター講座 「まちびらき」

今暮らしている場所を楽しむために、自分たちで調べて考えてシェアしてみよう。市民ライター講座「まちびらき」は、北本のまちを舞台にそんな想いをつないでいくプロジェクトです。誰かに伝えたい、北本にまつわる色々な「物語」を、取材・編集して未来へつないでいきます。取材テーマは参加者自らの持ち寄り。作成した記事はWEBサイト「&green」に掲載します。



シティプロモーション公式WEBサイト 『&green』

北本市が運営するwebサイト「&green」では、市内特産品紹介や、&greenな暮らしを営む人々のインタビューなど地域の面白い情報を発信しています。その他、市民ライターの取材記事やイベント情報なども掲載。はじめて北本を知るきっかけにも、もっと深く詳しく北本を知りたい時にも役立つ、ローカルwebメディアです。公式Instagramと一

- シティプロモーション公式WEBサイト『&green』
<https://andgreen-kitamoto.com/>
- シティプロモーション公式Instagram『&green』
https://www.instagram.com/andgreen_kitamoto/



シティプロモーション公式LINE 『&greenfanclub』

シティプロモーション公式LINE『&greenfanclub』
<https://page.line.me/633qceko?openQrModal=true>

北本市シティプロモーション公式LINEアカウントでは、北本市内で行われる様々なイベント情報や、旬の農産物、季節のおすすめ情報等をお届けします。ぜひお友達登録をよろしくお願いいたします。



北本の旬に出会う

北本市では年間を通して、様々な種類の新鮮な野菜や果物が、直売所を通して味わうことができます。ぜひお気に入りの直売所を見つけてください。



横山農園

北本駅徒歩3分、本格的ないちご狩りが楽しめる観光農園。1月から5月までの間、数種類の苺が食べ比べて楽しめます。直売所も併設されており、苺は直売所でも購入可能。季節によって、トマトやブドウ・梨なども販売されており、すぐに売り切れてしまうため、朝イチで行くのがおすすめです。
 営業時間など：直売所…9時から夕方まで、不定休、苺・トマト・ブドウ・梨がある時期のみ営業
 いちご狩り…10時から12時※要予約12時30分受付終了、月曜、木曜、金曜（WEBサイト要確認）1月上旬から5月上旬頃
 北本市中央2-103 電話：080-6671-7639 <http://yokoyama-farm.com/>



いとうふあーむ

年間120種類以上の朝採れ野菜が並び、農家直営の直売所。農産物の鮮度は抜群で、店内にはその時期しか味わえない旬の野菜が所狭しと並びます。自家製のお漬物や生蕎麦などの加工品も。熟成庫で寝かせた「紅はるか」の絶品焼き芋を求め、多くの常連さんで賑わいます。
 営業時間など：13時から日没頃まで 定休日：日曜・月曜・木曜（季節により変動有）
 期間：1年中
 北本市緑3-29 <https://www.instagram.com/110farm/>



加藤トマト園

朝採れトマトと新鮮野菜を販売する、北本で屈指の人気を誇る直売所。減農薬栽培された、大玉トマトや色とりどりの珍しい種類のミニトマトが、常時20種類以上並びます。ミニトマトは100g単位の量り売りで購入が可能。オープン時には多くの人が行列を作ります。
 営業時間など：火曜～金曜 13:30-16:30 土曜 13:30-15:00
 定休日：日曜、月曜（WEBサイト要確認） 期間：3月から7月ごろまで
 北本市中丸10-86 電話：090-1667-0079
https://www.instagram.com/tomato_kato_kitamoto/



新井果樹園

4月から10月ごろまで、新鮮な筍やプラム・梨などを、農家の庭先で販売する季節限定の直売所。プラムは北本市ブランド農産物にも認定されており、贈答用に大変人気があります。梨は幸水・彩玉などをはじめ、10種類以上が栽培されており、中々出会えない珍しい梨を味わえるのも、農家直売の醍醐味です。
 営業時間など：8:30-17:00 定休日：不定休 期間：筍…4月から5月ごろ プラム・梅…7月ごろ 梨…8月から10月ごろ 栗…9月から10月ごろ キウイフルーツ…10月ごろ
 北本市高尾8-30 電話：048-592-5937
<https://www.instagram.com/araikajuen0804/>



遊ぶ・食べる &green

日本五大桜石戸蒲ザクラ



「石戸蒲ザクラ」は大正11年に、桜としては日本で初めて国の天然記念物に指定され、令和4年には指定100年を迎えました。また、蒲ザクラは同時に指定された4本の巨桜とともに日本五大桜と呼ばれるようになります。蒲ザクラの樹齢は約800年といわれ、樹種はエドヒガンとヤマザクラが自然交配した世界でただ一つの貴重な桜です。毎年4月上旬に白い可憐な花を咲かせ、多くの人を楽しませてくれます。



きたもと「四季の恵み」マルシェ （北本市農業ふれあいセンター）



旬の北本産野菜が味わえる複合施設。施設内には、朝採りの北本野菜が並び「桜国屋」北本産のそばを味わう「さんた亭」季節のドリンクやスイーツのお店「&green CAFE」があります。カフェには案内所も併設しており、観光情報も発信しています。



北本市深井7-265-4 電話：048-578-4255

北本トマトカレー



全国ご当地カレーグランプリ（2014年、2019年）、土浦カレーフェスティバル（2016年）で優勝し、日本一と評された「北本トマトカレー」。レトルトやフレークが市内のスーパーや北本市観光協会で購入できます。また、市内の様々なお店が、独自の工夫を凝らした北本トマトカレーを提供しています。お気に入りの北本トマトカレーを探してみませんか。



グリコピア・イースト



全国のポッキーやブリッツを製造する東日本最大のグリコの工場「北本ファクトリー」。その工場見学が無料でできる施設が「グリコピア・イースト」です。館内では、グリコの「ポッキー」「ブリッツ」の製造ラインを見学できるほか、クイズチャレンジツアーや歴代のおもちゃの展示など、楽しい仕掛けがいっぱい！



北本市中丸9-55 電話：048-593-8811

安心安全

縄文時代から選ばれ続ける 災害リスクの少ないまち

大宮台地の最高地点に位置する北本市。中でも一番標高の高い場所は、荒川を望む高台の高尾付近で海拔は32mです。荒川との標高差が大きいため、台風等による洪水の危険性は低く、また、地震の計測回数も近隣市と比べると少ないため^{※1}、災害リスクの少ない、安全な街と言えます。関東最大級の環状集落である「デーノタメ遺跡」など、縄文時代の遺跡が多数発見されていることから、古くから定住の地として選ばれていたことがわかります。

^{※1}気象庁震度データベース過去10年間震度3以上回数(2012年7月～2022年7月)より

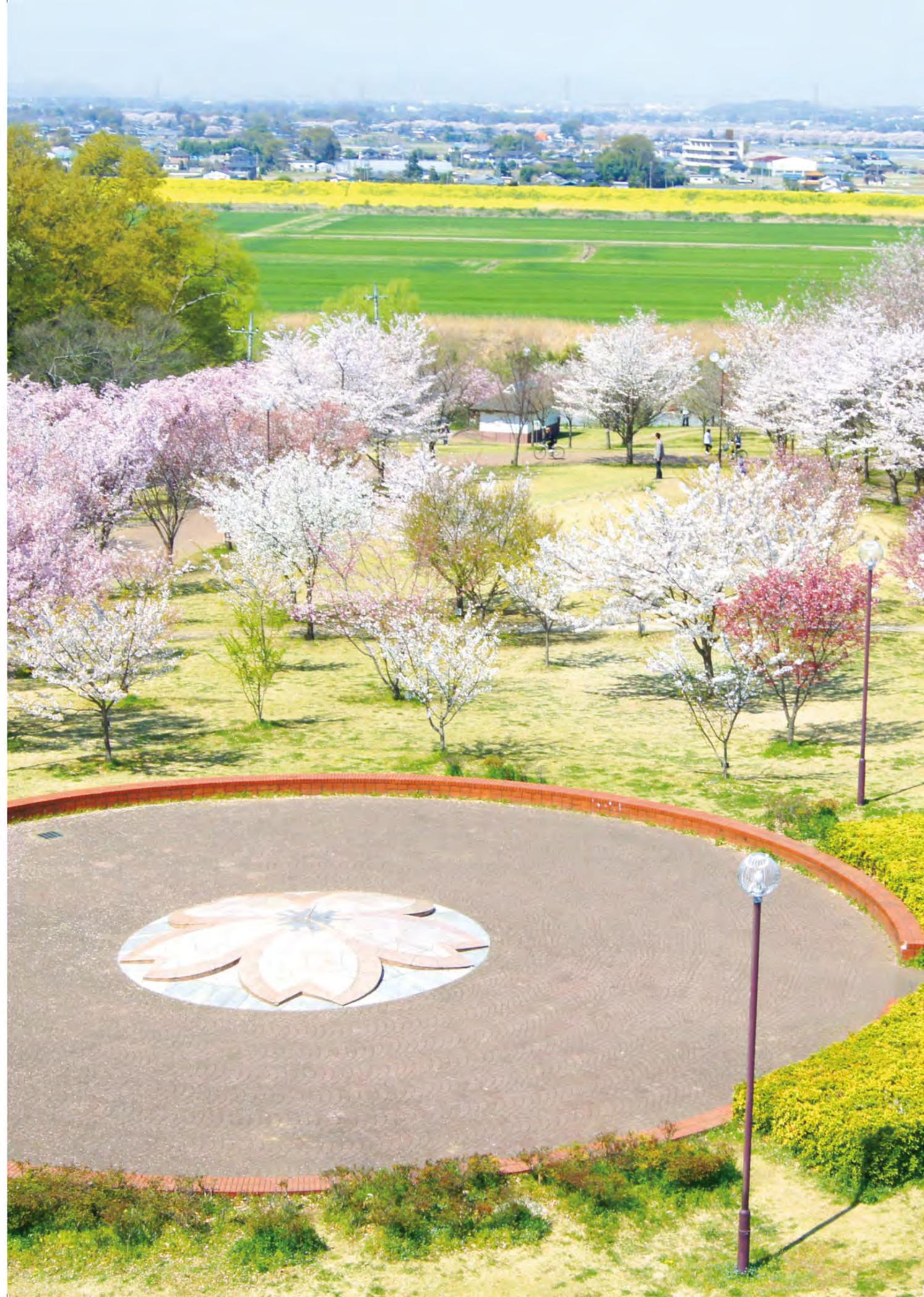


上部左からデーノタメ遺跡「ヒスイ製大珠」「クルミ形土製品」「勝坂式土器」「遺跡調査風景」
下部左から宮岡氷川神社前遺跡「異形土器」「土製耳飾り」「土偶」

地域による見守り活動で 犯罪を抑える

地域防犯推進委員やスクールガードリーダーなど地域の住民による子どもの見守り活動や防犯パトロールを行っています。加えて、自治会においては84の自主防犯団体が結成されており、日々地域の安全活動に取り組み、犯罪を寄せ付けないまちづくりを行っています。これらの活動により、刑法犯認知件数は10年前と比べ半数以上減少しており、犯罪率^{※2}は2021年の埼玉県平均5.5に対し、北本市は4.8と低い率となっています。

^{※2}埼玉県警察発表令和3年市区町村別認知件数・犯罪率より



子育て

充実の遊具、絵本がそろそろ

児童館・こども図書館

北本市役所に併設されている北本市立児童館・こども図書館。最新の遊具、絵本がそろい、休日になると市内外から多くの方が訪れます。特に人気の遊具はクライミングウォールとボールプール。子供たちが雨の日でも楽しめる新しく綺麗な施設をぜひ一度お楽しみください。

子育て世代のお金の負担を軽減

高校生までの医療費助成

「めざせ日本一、子育て応援都市」を宣言し、子育て環境の充実をはかる北本市。特に、子育て世代の金銭的な負担を軽減するために、高校生までの医療費を助成する事業、出生時・健診時にこども商品券を贈呈する子育て応援事業などを行っています。



教育

北本式小中一貫教育

中1ギャップの解消・確かな学力や豊かな心の育成

小学校から中学校への進学で環境が急激に変化することから起こる「中1ギャップ」問題。北本市では、「中1ギャップ」の解消と確かな学力や豊かな心の育成を目指し、小・中学校の教員同士が各々行き来して授業を行ったり、児童・生徒の情報を共有したりしています。義務教育9年間を滑らかに接続し、途切れることなく児童・生徒の成長を促すため、市独自の小中一貫教育を行っています。

出来立てのおいしいご飯を

自校式での給食提供

北本市では全小・中学校がそれぞれ自校式で、給食を調理しており、出来立ての温かい給食が提供されています。全国ご当地カレーフェスティバルで一位に輝いた「北本トマトカレー」が給食で提供されることも。



北本市からのアクセス

電車を利用した場合



車を利用した場合

大宮	35分
熊谷	35分
川越	35分
八王子JCT	35分 (圏央道)
つくば中央IC	50分 (圏央道)
練馬IC	30分 (圏央道/関越自動車道)
高崎IC	45分 (圏央道/関越自動車道)
海老名IC	1時間 (圏央道)
成田IC	1時間半 (圏央道/新空港自動車道ほか)

※時間はおおよその目安です

& green
[アンドグリーン]

2023年3月発行(第2版)

発行: 北本市

編集: 北本市観光協会

写真: 江澤勇介、ナガシマアサコ、埼玉県自然学習センター、サンアメニティ北本キャンプフィールド、北本市観光協会

Special thanks: 本誌の制作にご協力いただいた皆さま